



紙コップのインスタレーションとは？

- 世界とつながるアートプロジェクト -



1

ひとり一つの紙コップに「自分の分身」として自分の好きな絵を描いていきます。絵は上手い下手ではなく自分の思うままにペンを動かしてみよう！



2

紙コップタワーを作ろう！
自分の紙コップがみんなの紙コップの仲間入り♪
途中で崩れても大丈夫。崩れることが失敗ではなくチャレンジすることが大切だよ！



3

それぞれのタワーができると、その空間は非日常のアートの世界へ変じます。
空間を創造するインスタレーション・アートを体感してみよう♪



**自分の分身となった紙コップは日本や世界を旅して、
アートを通して多くの子どもたちがつながっていきます。**

仲間入りした紙コップは、ほかの会場でも紙コップインスタレーション作品の一部となり、新たなアート空間を作り上げていきます。
“100万個”の紙コップインスタレーションを目指し、是非いっしょに世界中に友達の輪を広げていきましょう！
2023年、上野にある東京都美術館にて紙コップインスタレーションをおこないます。自分の紙コップと再会できたら素敵ですね！

アートは「差」をみない。アートは「違う」からこそ認められる。

アートには「型」がない。むしろ「型破り」などが歓迎されます。「評価」という物差しで子供達の価値を測るだけではなく、一人一人が
ありのままの自己表現をしてお互いを認め合うことが、子供たちの自己肯定感を育むことへと繋がります。そして、アートは人と人を結びつける
ものでもあります。アートを通して一期一会の出会いをしませんか。
＜(有)芸術による教育の会＞



紙コップは、20世紀初め米国で長距離列車内で飲料水を飲む時に銅製カップが共同利用されていたことが疫病感染に関係しているとされ、その対策として誕生しました。
紙コップの紙は一部で間伐材を使用しており、森林の保護に繋がっています。